

## ▼メスチノン錠 [内]

【重要度】★★ 【一般製剤名】ピリドスチグミン臭化物 (U) pyridostigmine bromide 【分類】重症筋無力症治療剤

【単位】▼60mg/錠

【常用量】180mg/日

【用法】1日3回 [適宜増減]

【透析患者への投与方法】20%に減量 (3,17)

【その他の報告】少量から開始 (5)

【PD】20%に減量 (17)

【CRRT】35%に減量 (17)

【保存期 CKD 患者への投与方法】GFR>50mL/min : 50%に減量, GFR 10~50mL/min : 35%に減量, GFR<10mL/min : 20%に減量 (3,17)

【その他の報告】腎障害患者ではt1/2が約3.4倍に延長, CLは約1/4に低下するため慎重投与 (1)

【特徴】カルバミン酸誘導体の抗コリンエステラーゼ剤。重症筋無力症の治療に用いられる。

【主な副作用・毒性】コリン作動性クリーゼ, 下痢, 腹痛, 発汗, 流涎, 嘔吐, 縮瞳, 気管支分泌の亢進, 骨格筋の線維性攣縮, 頭痛, 動悸, 耳鳴, 発疹など

【吸収】吸収率に個人差が大きく, 必要量の個人差も大きくなる (17)

【F】10~20% (U) 14.3% (1) 7.6±2.4% (Aquilonius SM, et al: Eur J Clin Pharmacol 1980 PMID: 7439266)

【tmax】1~2hr (U) 2hr (1)

【代謝】代謝により消失 (U) 肝で3-ヒドロキシ-N-メチルピリジニウムに代謝 (1)

【排泄】尿中未変化体排泄率2~16% [po, 24hr まで] (1) Fが小さいのでfeは80~90% (5)

【CL】0.52~1.0L/hr/kg (U) 9.7mL/min/kg (1) CL/F=136L/hr (Seng KY, et al: J Pharm Pharmacol 2009 PMID: 19703368)

【t1/2】α相7.2~8.4min, β相: 63~112min (U) 200min (1) 1.52hr (Aquilonius SM, et al: Eur J Clin Pharmacol 1980 PMID: 7439266)

【蛋白結合率】結合しない (U)

【Vd】1.03~1.76L/kg (U) 1.03L/kg (1) Vd/F=130L/man (Seng KY, et al: J Pharm Pharmacol 2009 PMID: 19703368)

【MW】261.12

【透析性】資料なし (1) ある程度除去されると思われる (1)

【OW 係数】資料なし (1)

【効果持続時間】経口: 3~6hr (U)

【更新日】20200709

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院ではいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。